

教科書 23 ページ～33 ページ、資料集 38 ページ～46 ページ読んで次の問いに答えなさい。提出用紙は自由ですが、必ず出席番号と氏名を書いてください。次回登校した際に春木まで提出してください。

課題 1 資料集 39 ページの 3 の A「古墳の分布」を参照し、記されている古墳を地域毎に、箇条書きで整理しなさい。

- ・ 関東地方
- ・ 近畿地方
- ・ 山陽地方
- ・ 九州地方

課題 2 資料集 39 ページの表「古墳の変遷と分布」を参照して、出現期・前期・中期・後期・終末期の古墳の特徴を表にまとめなさい。

課題 3 次の史料を読んで、4 世紀末から 5 世紀にかけての経過を年表にまとめなさい。

① 教科書 26 ページ欄外注②「好太王碑文」（資料集 42 ページにも掲載されています。なお現代語訳は資料集附録の冊子 3 ページ 8 「好太王碑文」にあります。この史料は高句麗（当時朝鮮半島は統一されておらず高句麗・百済・新羅の三国が分立していました。そのうち最強だった高句麗の王、好太王の死後その業績を讃える碑文に「倭」（日本人と解釈できます）についての記事があります。）

② 教科書 27 ページ「倭王武の上表文」（資料集 42 ページにも掲載されています。なお現代語訳は資料集附録の冊子 3 ページ 9 「五世紀の倭国」です。5 世紀の中国は黄河流域を治めていた北朝、長江流域を治めていた南朝の二つに分裂していました。南朝の王朝であった宋に当時のヤマト政権は使節を派遣していました。宋の歴史をまとめた『宋書』には使節を送った五人の「倭王」についての記事があります。引用されているのは五人の「倭王」の一人、「倭王武」についての記事です。）

③ 教科書 27 ページ 「稻荷山古墳出土の鉄剣」（資料集 44 ページには拡大された鉄剣の写真と彫られていた文が掲載されています。彫られていた文の現代語訳は 3 ページの 10 「稻荷山古墳出土鉄剣」にあります。稻荷山古墳は現在の埼玉県北部にある前方後円墳で、現地の豪族が埋葬されていたと考えられます。豪族の副葬品である鉄剣の表面には金文字が彫り込んでありました。）